

1

特集

入学式を3年ぶりに開催 新2、3年生には歓迎式

 Vol. 32
 August
 2022


▲今年の入学式は、さいたまスーパーアリーナで開催



▲式辞を述べる坂井貴文学長

4月6日(水)、令和4年度埼玉大学入学式を挙行し、学部学生1,605名、博士前期課程学生590名、博士後期課程学生31名を埼玉大生として新たに迎えました。令和2年度、令和3年度の入学式は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止としていたため、学生や保護者の方々が会場に集まった開催は3年ぶりです。

坂井貴文学長は式辞で、「新型コロナウイルス感染症拡大により様々な制約を受けている中で、多くの困難を乗り越えて勉学、研究に励み、埼玉大学へ入学された新入生の皆さんの努力を讃えます」と述べ、「埼玉大学はすべての学部・研究科が一つのキャンパスにあります。これは、多彩なバックグラウンドを持つ学生や教員が身近にいることを意味します。ぜひ、この環境を最大限に活かしていきましょう」と新入生を激励しました。

この日は令和2年度、3年度に埼玉大学に入学した学部学生3,187名、博士前期課程学生1,159名、博士後期課程学生154名を対象とした歓迎式も開催され、学生と保護者約1,200名が出席。すでに1、2年を埼玉大生として過ごしていることもあり、友人と出席した学生も多く、入学式のような緊張感とは違った、和やかな雰囲気の中で挙行されました。



▲入学生歓迎式後、メルリンちゃんを囲んで記念撮影する学生ら

2 教育 2021年度 経済学部優秀卒業論文表彰式が行われました

3月24日(木)、経済学部第一会議室において優秀卒業論文表彰式が行われました。最優秀論文1本と優秀論文3本の執筆者に賞状と副賞が授与されました。

各賞については、右記のとおりです。



▲(後列左から) 広田副学部長、中経経和会副会長、有賀教授、大津准教授、井原教授、今泉准教授、再学部長(当時)、江口准教授
(前列左から) 川平さん、蒲田さん、鈴木さん、中根さん

最優秀論文賞 (経済学会賞)

受賞者: 中根陽哉 さん (今泉飛鳥 准教授ゼミ)

論文題目: 「クラウドファンディング型ふるさと納税がふるさと納税制度に与える影響」

優秀論文賞 (経和会長賞)

受賞者: 鈴木くれは さん (井原基 教授ゼミ)

論文題目: 「マレーシア化粧品市場における若年層消費者の購買行動と日本企業の課題」

優秀論文賞 (経和会長賞)

受賞者: 蒲田千春 さん (大津唯 准教授ゼミ)

論文題目: 「不妊治療環境の在り方—公的医療保険の適用をめぐる—」

優秀論文賞 (経和会長賞)

受賞者: 川平慈音 さん (有賀健高 教授ゼミ)

論文題目: 「環境配慮型宅配サービスへの支払意志額とその要因」

2 ダイバーシティ 女子中高生の理系進路選択を、埼玉大学が応援します! —県立熊谷女子高校でWISE-P出前授業を開催—

埼玉大学では「彩の国で育もう、理工系女子の未来を! 彩の国から変えよう、理工系の未来を! (通称: WISE-P)」と題した取組を2021年度からスタートし、女子中高生の皆さんの理系への進路選択を支援しています。その活動の1つとして本学教員が中学校・高等学校を訪問して理工系の授業を行う「出前授業」を行っており、5月30日(月)には埼玉県立熊谷女子高等学校にて授業を開催しました。

当日は1年生310名が8つのテーマから関心のある2テーマを選び受講。生徒からは「文系で理数系に苦手意識があったが、興味が増えてよかったです」「進路選択の参考にもなり、将来に役立てることができると思いました」といった感想が寄せられました。



▲出前授業の一場面

4 地域 女子サッカー応援イベント「We are Saitama! ~埼玉と女子サッカー~」を開催しました

5月12日(木)と19日(木)の2日、2021年9月に開幕した日本女子プロサッカーリーグ(通称「WEリーグ」)に関するイベントを開催しました。埼玉大学は埼玉におけるサッカー発祥の地と言われており、また教育研究機関として「ジェンダー」や「ダイバーシティ」といった観点を推進する立場から今回のイベントを主催。パネルディスカッションや座談会を行いました。

5月12日(木)のディスカッションでは、ダイバーシティを推進する本学とWEリーグの取組は重なる部分が多いことに触れ、それぞれが行うダイバーシティ推進活動の共有や意見交換が行われました。

5月19日(木)の座談会では怪我との付き合い方や、海外生活で感じた日本とのギャップ、シュートの秘訣や女子サッカーの魅力等について、各選手が自身の経験や意見を発表。過去の面白エピソードなどを披露する場面などもありました。



▲現役の選手らを招いての座談会
(上段左から) 菊原伸郎 准教授、鮫島彩 選手、荒川恵理子 選手
(下段左から) 柳田美幸 氏、安藤梢 選手

5 地域 ゼロカーボンシティやグリーンキャンパスに向けた取組を推進 —さいたま市が「脱炭素先行地域」に選定されました—

さいたま市、埼玉大学、芝浦工業大学、東京電力パワーグリッド株式会社埼玉総支社の4者は、環境省が全国の自治体を対象に募集した「脱炭素先行地域」に「さいたま発の公民学によるグリーン共創モデルの実現」を共同提案し、4月26日(火)、全国で初めてとなる「脱炭素先行地域」に、他の25地域とともに選定されました。6月1日(水)には選定証授与式が行われ、本学からは黒川秀樹理事(研究・産学官連携担当)・副学長が出席。山口壯環境大臣から選定証が授与されました。

▶(左から) 穂坂泰 環境大臣政務官、中川康洋 環境大臣政務官、務台俊介 環境副大臣、大岡敏考 環境副大臣、山口壯 環境大臣、小川博之 さいたま市副市長、黒川秀樹 埼玉大学理事(研究・産学官連携担当)、三船毅明 芝浦工業大学大宮キャンパス長、河野誠 東京電力パワーグリッド株式会社埼玉総支社長



6 国際 学内で国際交流! 『SU Pair Chat』を開催しました

4月15日(金)、学生同士がペアになって英語で交流するイベント『SU Pair Chat』を開催しました。今回初めて開催された本イベントには、日本人学生と留学生合わせて36名が参加。英語に苦手意識がある学生も参加できるよう、英会話のヒントシートを配付し、「食べ物」や「音楽」といったカジュアルなテーマについて英会話を楽しみました。

参加した学生からは、「普段英語を話すことがないので、このようなイベントに参加できて良かった」「焦らず落ち着いて会話できる雰囲気、他学部・他学年の学生と交流できて楽しかった」といった感想が聞かれました。また、「定期的に開催してほしい」といった、今後への要望も寄せられたため、現在も継続して開催しています。

イベントの様子▶



7 学生 令和3年度工学部長賞に寺崎さんと藤原さん

6月21日(火)、令和3年度埼玉大学工学部長賞の表彰式が行われました。この賞は、学士課程卒業後に大学院進学を予定している卒業生のうち、優秀な成績を収めた学生を表彰するもので、令和3年度は機械工学・システムデザイン学科卒業の寺崎慎吾さんと、電気電子物理工学科卒業の藤原彬高さんが受賞しました。

表彰式では、重原工学部長から激励のメッセージが送られ、表彰盾と副賞が授与されました。今回の受賞について寺崎さんは「本日は光栄な賞をいただき、ありがとうございます。これからも精一杯大学院にて勉学に励んで参ります」、藤原さんは「工学部長賞をいただき、大変光栄です。大学4年間、充実した日々を送りました。友人、教職員、両親に感謝の気持ちで一杯です」と感謝の気持ちと今後への抱負を述べました。

▶(左から)大学院理工学研究科 金子裕良学科長、矢口裕之教授(卒研指導教員)、藤原彬高さん、寺崎慎吾さん、荒居善雄学科長、重原孝臣工学部長



8 研究 シーズ集「埼玉大学 研究シーズ集 2022-23」が完成しました

オープンイノベーションセンターでは、産学官連携活動を積極的に推進するため、埼玉大学教員の研究内容などを1冊の冊子としてまとめた「埼玉大学 研究シーズ集2022-23」を発行しました。

本学ホームページでもデジタルブックを掲載しておりますので、ぜひご利用ください。



9 研究 第46回レーザー学会奨励賞を受賞 (大学院理工学研究科 菅野円隆 助教)

大学院理工学研究科 菅野円隆助教が第46回レーザー学会奨励賞を受賞しました。

一般社団法人レーザー学会は、レーザーに関する学理及びその応用の研究についての発表及び連絡、知識の交換、情報の提供等の場となることにより、レーザーに関する研究の進歩普及を図り、学術の発展に寄与することを目的とする学会です。

今回受賞した奨励賞は、独自の将来性のあるものに対して贈られます。

受賞した菅野助教▶



●受賞題目：
複雑光ダイナミクスによるリザーバコンピューティングと強化学習の融合
[レーザー学会第42回年次大会 招待講演 S05-14p-XII-02 (2022)]

10

公開講座

現代の「危機」を共に考える

—埼玉大学連続市民講座を今年も開催—

今後の講座や
ライブ配信の情報に
ついてはこちらから
ご覧ください。→



例年多くの方々にご参加いただいている「埼玉大学連続市民講座」。令和4年度の講座が、5月28日(土)より始まりました。埼玉大学の多様な研究を紹介する本講座は、埼玉大学と読売新聞さいたま支局との共催により開催しており、今年で13回目を迎えます。今年は「危機の時代Ⅱ—しなやかな社会を目指して—」をテーマに、昨年に引き続き、現代が抱える様々な「危機」の現状をわかりやすく解説すると共に、考え得る処方箋について、様々な分野からアプローチしていきます(全6回)。

8月27日(土)開催の第4回、9月17日(土)開催の第5回については、ご自宅からも連続市民講座をお楽しみいただけるよう、講義の様子を会場からライブ配信いたします。ライブ配信参加に必要なZoom情報等は、HPにてお知らせいたします。

第4回

人口・経済・社会の危機と
日本型福祉国家の未来

8/27(土)

14:00~16:00



急速な少子高齢化、長引く経済の低迷、格差・貧困の拡大は、日本社会が直面する積年の課題となっています。新型コロナウイルス感染症の影響で、これらの課題はさらに深刻化することが懸念されています。本講演では、そうした実態を統計に基づいて把握するとともに、このような課題にいかに対応すべきか、変容を迫られる日本型福祉国家という観点から考えます。

准教授 おおつゆい 大津 唯 (大学院人文社会科学部)

第5回

多様な文化と生きる
—外国につながる子どもたちと教育—

9/17(土)

14:00~16:00



埼玉県には中国、フィリピン、韓国・朝鮮、ベトナムといった様々な国や地域出身の人々が暮らしています。異文化との出会いは戸惑いだけではなく、私たち自身を豊かにすることにもつながります。外国につながる子どもたちが在籍する教室の中では、共生にむけた新たな文化が創造されているはずです。一方で、異質な文化と暮らすことには、困難なこともあります。ここでは、異なる文化とともに生きるということはいかなることなのか、学校を取り上げてお話ししていきたいと思えます。

准教授 いそだみつこ 磯田 三津子 (教育学部)

埼玉大学基金室より 埼玉大学基金のご案内

埼玉大学基金は平成25年11月の設立以来、皆さまからのご理解とあたたかいご支援をいただいております。現在、下図のとおり大学の機能強化、学生支援の充実を目的とするとご寄附を幅広く受け入れております。

ご寄附の方法として、金融機関からの振込・払込のほか、指定の月に決済が行われる継続寄附も可能なクレジットカード決済をご用意しております。

また、不要となった本やDVD等をお送りいただくことで、その査定額をご寄附いただけるリサイクル募金「きしゃぼん」を導入しております。

今後とも埼玉大学基金へのご理解とご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

埼玉大みらい基金

【募集期間】2019年11月~2024年3月

■埼玉大学の機能強化を支援

教育・研究への支援

- ・教育プログラムの整備充実等
- ・国際的研究力の向上等

■キャンパス環境整備への支援

- ・安全・安心・快適なキャンパス整備等

■国際交流事業への支援

- ・海外留学の促進等
- ・外国人留学生受入促進等

■社会連携事業への支援

- ・地域・社会との連携充実等
- ・企業との連携強化等

■その他基金の目的達成に必要な事業

■学生への奨励事業の実施

- ・特に優秀な学生への給付型奨励金制度の創設

冠奨学金基金

寄附者の方の想いに沿った奨学金
制度を創設

一定額以上(30万円以上)を寄附した寄附者(法人・個人)が、奨学金名称、奨学金の額及び対象学部等を設定いただけます。

特定基金

埼玉大学修学サポート基金

経済的理由により
修学に困難がある学生等の支援

- ・授業料・入学金減免事業
- ・奨学金事業
- ・海外留学支援事業
- ・TA・RA事業

◆埼玉大学基金へのご寄附の累計額

令和4年 6月末の状況 **670,244,541 円**うちリサイクル募金「きしゃぼん」によるご寄附 **1,376,353 円**

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.saitama-u.ac.jp/funds/>

埼玉大学基金

検索

お問い合わせ先 埼玉大学基金室 (総務部広報渉外課内) ☎048(858)9330 ✉s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp

